



2月新着図書案内



中旬版
富山中部高校図書館



ひとり空間の都市論

南後 由和 著

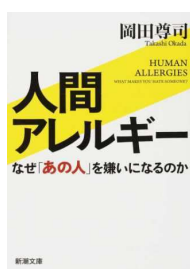
同調圧力が強い日本社会における「ひとり」は、異質な存在としてみなされる一方、世の中には、カプセルホテル、カラオケ、焼肉店など、ひとりで利用できる商業施設が溢れかえっている。「おひとりさま」現象を「都市」の問題として読み替え、「みんな・絆・コミュニティ」へと世論が傾く今、ひとり空間の現況と可能性を考える。



43回の殺意

川崎中1男子生徒殺害事件の深層
石井 光太 著

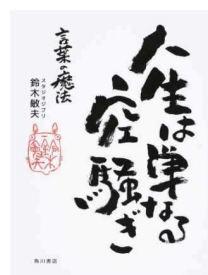
2015年2月20日、神奈川県川崎市の多摩川河川敷で13歳の少年の全裸遺体が発見された。事件から1週間、逮捕されたのは17歳と18歳の未成年3人。彼らがたった1時間のうちに、カッターの刃が折れてもおお少年を切り付け負わせた傷は、全身43カ所に及ぶ。そこにあったあまりに理不尽な殺意、そして逡巡。立ち止まることもできずに少年たちは、なぜ地獄へと向かったのだろうか――。



人間アレルギー なぜ「あの人」を嫌いになるのか

岡田 尊司 著

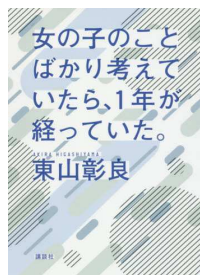
花粉などアレルギーによって引き起こされる身体的アレルギー。これとよく似た心理的拒絶反応「人間アレルギー」についてはこれまで語られることはなかった。良好だった人間関係がなぜ急にうまくいなくなるのか。些細な理由で相手の存在までも許せなくなるのはなぜか。具体的な臨床例と歴史上の人物のケースを分析しながらこの心理的葛藤状態を克服する処方を示す。



人生は単なる空騒ぎ 魔法の言葉

鈴木 敏夫 著

世界中で愛され続けているジブリ作品のメッセージを伝える、力強い言葉たち。それらは、どうやってうまれたのか、鈴木敏夫プロデューサーの手書きがもつパワーとはなにか――。手書きの「書」から紐解く、鈴木敏夫の「言葉」とは。自身の「書」をまとめた初めての1冊。ジブリファン必見の1冊。



女の子のことがばかり考えていたら、 1年が経っていた。 東山 彰良 著

如何にモテるか――それだけをこの胸に問い続けて、今日まで生きてきた。この本の主成分は、これまで恋に関して沈黙するしかなかった有象無象たちの涙なのだ。モテ、という人類最大のテーマ。男たちよ泣け、女たちよ笑え―― 有象無象たちの哀歌、誕生。

図書館からのお知らせ

勉強に疲れたら
本を読んで
リフレッシュ！